

小川町の教育振興に関する大綱

《町民・子供たちへのメッセージ》

私の町づくりの基本は、「町の活性化」「安心・安全な町づくり」「豊かな自然と歴史・文化の活用」です。

今年の3月に策定した「小川町第5次総合振興計画」に示された町の将来像は「自然の恵みと文化を未来につなぐ、人が輝くまちおがわ」としています。そして教育の本旨は人づくりであり、未来への投資です。

古くからの言葉として「温故知新」（故きを温ねて新しきを知る）というものがあります。小川町はずねるべきふるきものが沢山あります。それだけ新しい知識や見識の広がり期待できます。

現代は様々な課題や難しい問題にあふれ、複雑な社会を形成していますが、小川町民の一人一人に生き生きと輝いてもらうために、この町がもつ古くて豊かな自然と文化・歴史を振り返り新しきを求め、そして他に誇ることでできる人情味あふれる風土や人々の絆の深さを大切にして、町づくり、人づくりを行っていききたいと思えます。

子供たちには、豊かな心と確かな学力を着実に身に付けてもらうために、そして町民の皆さんには、生涯にわたる豊かな学びの継続と学びの成果が活かされる体制づくりが図られるよう、小川町の教育を進めていきます。

あらゆる町民の方の能力と可能性が花開くことを期待しています。

《施策の根本的な方針》

1 生涯にわたり生き生きと学ぶ機会を充実します

心豊かな人生を送るためには、生涯にわたる学習活動が大きな役割を果たします。

町民の主体的で多様な学習活動の成果が地域における様々な場に活かされるよう、生涯学習の推進体制を充実させるとともに、いつでも・どこでも・だれでもが生涯学習に取り組める環境づくりを目指し、「ひとが輝きまちも輝くふるさと小川の学び」を支援していきます。

2 生きる力をはぐくみ確かな学力を育成します。

生きる力をはぐくむためには、児童・生徒一人一人に基礎・基本を習得させ、併せてその活用能力を高めていく教育活動が大切です。

そこで、基礎学力と論理的思考力、問題解決能力の習得を絶えず検証し、指導方法の工夫改善を図っていきます。併せて互いに協力し学び合い自ら学ぶ意欲を高め、自尊感情を醸成していく「学びの改革」を推進し、確かな学力を育成します。

3 豊かな心と健やかな体を育成し、様々な課題を抱えた子供たちを支援します。

児童・生徒の心身の発達段階にあわせて、心豊かな人間性をはぐくみ、健康の保持・増進と体力の向上を図る必要があります。

豊かな人間性と社会性を身に付けるため、社会体験などの機会の充実を図ります。また、道徳の教科化への適切な対応を図り、道徳教育を推進します。

また、いじめや不登校の問題、発達障害への対応、家庭の教育力の低下や経済的格差など様々な課題に対応するため、教育を通じた支援を行います。

4 学校経営改革、安心・安全な学校づくりを進めます。

保護者や地域に信頼される学校を創りあげるには、管理職が強いリーダーシップを発揮し、学校経営・運営の改革を図っていくことや、児童・生徒が安心・安全に学習活動を行い生活できるよう、安全教育の充実や教育環境の整備を進めることが大切です。

そこで、教職員の資質向上にむけ研修の充実を図り、防災教育・交通安全教育・防犯体制の充実や教育施設・設備の整備を図り、安全管理の徹底と事故防止に努めます。

5 家庭・地域の教育力を向上し、相互に支え合うための絆づくりを進めます。

家庭は、子供たちが健やかに育ち成長していくための礎（いしずえ）であることから、子育てについて悩みや不安を抱え、孤立している家庭に対して、家庭教育支援体制や、家庭教育向上のための学習機会の充実を図ります。

そのために、スクールソーシャルワーカーや各種相談員との連携を深め、教育相談体制を充実し、県の家庭教育アドバイザー等の活用を図ります。

また学校・家庭・地域との連携を強めるため、地域の行事やボランティア活動、学校応援団など地域ぐるみでの教育活動の充実を図り、相互に支え合うための絆づくりを進めます。

6 伝統文化を継承し新しい「和紙のふるさと」文化を創造します

地域の歴史と自然、伝統の中から生まれた豊かな文化に触れ、それを基礎に新たな文化芸術を生み出すことは、人々に感動や生きる喜びをもたらします。

和紙をはじめとした文化財や伝統文化は、よりよいまちづくりを行ううえで欠くことのできない、地域の貴重な財産であり、それらを保存し活かし、歴史と文化を体感することにより町への理解を深め、伝統文化の継承と文化芸術の振興を図ります。

7 健康・体力づくりを進め、生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実を図ります

生涯にわたり健康で明るく充実した毎日を過ごすことは、町民にとって非常に大切なことです。

生涯スポーツ・レクリエーション活動を推進することにより、生まれてよかった、住んでよかった、長生きしてよかったと思えるふるさとづくりにつながります。

そのため、子供から高齢者まで健康・体力づくりを進め、生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれもが、スポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、環境整備や参加機会の充実に取り組めます。

小川町長 松本恒夫